

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒332-8533
 住 所 埼玉県川口市領家5-14-25
 氏 名 京セラケミカル株式会社
 代表取締役社長 川江 康信 印
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	京セラケミカル株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区千鳥町9番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	16	化学工業
主たる事業 の内容	注型レジン、絶縁ワニスなどの各種電気絶縁材料製造、プリント配線板、機能性ペーストなどの電子関連材料の製造		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,103 k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数	台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名	業務課 環境安全・施設係
		所在地	川崎市川崎区千鳥町9番2号
		電話番号	044-266-1321
		FAX番号	044-277-5480
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	工場動力設備についてエネルギー削減によるCO2排出量低減を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ法管理標準に基づく管理の徹底 ・蒸気ボイラーの小型化、送気の短縮化 ・空調設備の更新による高効率エアコンの導入の検討 ・受変電設備の更新による変圧器の適正化及び容量の見直しの検討 ・コンプレッサーのインバータ機への更新 ・送水ポンプの更新による効率向上、インバータ導入の検討 詳細は指針様式第1号(第4, 5面)のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	従業員の環境家計簿作成推進 グリーン購入の推進 市内小学校への環境出前授業を実施 08年2回、09年1回、10年3回。 詳細は指針様式第1号(第6面)のとおり
備 考	当社の環境保全活動については、以下のHPIにて公表しています。 http://www.kyocera-chemi.jp/company/ecology.html

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

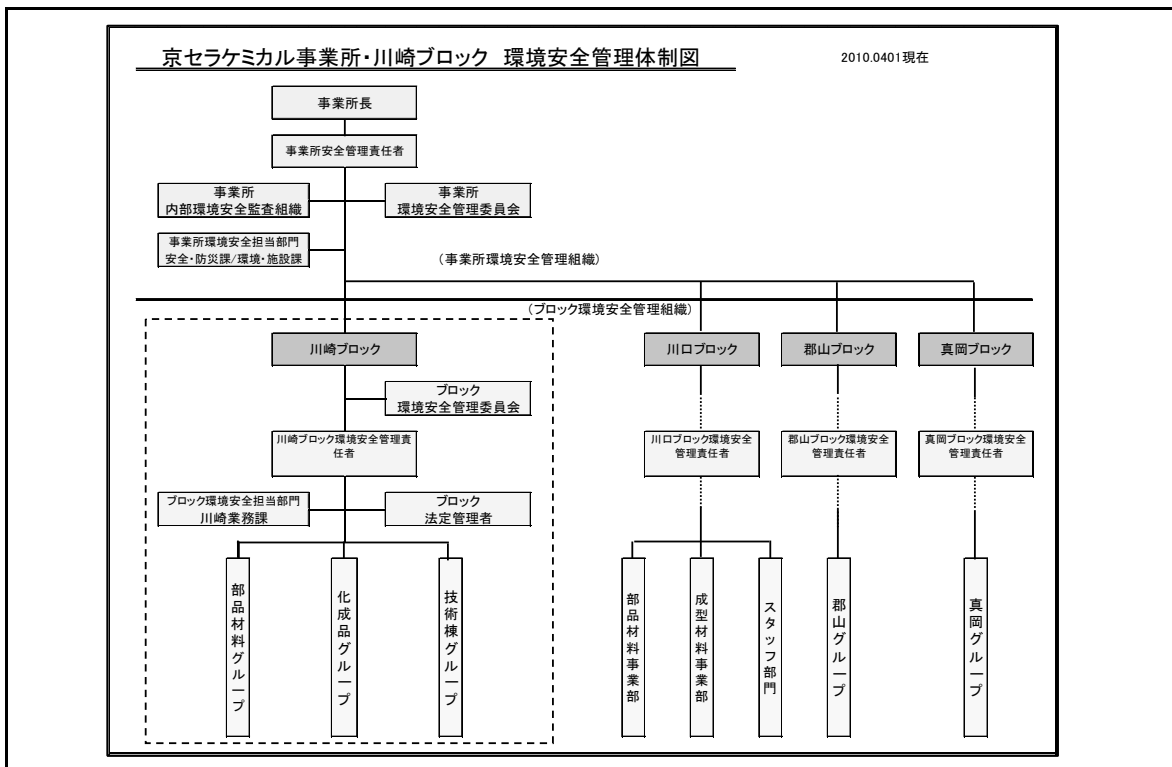
事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

事業所及び川崎工場方針 ISO14001（登録番号EC99J2032 2003. 10. 22京セラに統合）に明示。

- ・電気・化石燃料等の消費効率の改善及び高効率機器の導入等の省エネルギー活動を行うとともに、地球温暖化防止対策を推進する。
- ・省資源、再生産性等に優れた生産関連資材等の購入に努めると同時に、水資源・廃棄物等のリサイクルシステムを確立し、資源の有効利用の徹底を図ると共に、減量化を積極的に推進する。
- ・地球環境の改善に積極的に貢献する「環境保護貢献商品」及び製品の製造・販売・流通・使用・廃棄の各段階における環境負荷をできる限り低減した「環境負荷低減商品」の研究・開発を行うと共に、普及・拡大を図る。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 3,810 t- (調) 3,470 CO ₂	目標排出量	(実) 3,391 t- (調) CO ₂
削減率	(実) 11.0 % (調)	削減量	(実) 419 t- (調) CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	生産高	単 位	t-CO ₂ /百万円
基準年度の値	0.6079	目標年度の値	0.5411
削減率	11.0 %		
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	ISO-14001環境管理システムにおける全社方針、目的、目標には生産高原単位を用いているため、同じ指標で推進する。		

ウ 目標設定に関する考え方

<p>川崎工場環境目的：当事業所は、ISO-14001環境管理システムにおける環境方針を具体化し、取り組み内容と中期的な到達点を明確にするために、以下の環境目的を定め、積極的な環境改善活動を推進する。</p> <p>温室効果ガスの削減：2009年度の温室効果ガス二酸化炭素換算排出量原単位を基準として、2012年度には11%の削減を行う。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）

<p>京セラケミカル全社目標は、2009年度の温室効果ガス二酸化炭素換算排出量原単位を基準として、2012年度には11%の削減を行う。</p>

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>○推進体制 ISO-14001及び省エネ法に定める管理組織を全社で設置。</p> <p>○主要設備の管理 省エネ法の管理標準を運用し、主要なエネルギー使用設備毎に担当者を決めて運転、保守点検を行う。</p> <p>○省エネ設備投資 ・ポンプ用冷却水のポンプの高効率化とインバータによる吐出圧力制御の採用。 ・インバータコンプレッサへの更新と工場内の供給の見直しの検討を行う。 ・耐用年数を経過しているボイラの更新に併せ、事業構成の見直しを行い、ボイラの小型化、低圧化、送気配管の短縮化を盛り込む。</p> <p>○新設備への配慮 ・クリーンルーム増設、職場環境改善のための局所排気設備追加、新規事業用新設備などで、ヒートポンプエアコン等効率の高い省エネ性能を確保する。</p> <p>○老朽更新 ・老朽化の指摘がある受変電設備について、事業展開に応じたロス削減と、将来性を含めた容量での更新を計画し、順次実行する。</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

費用対効果を検証し、再生可能エネルギーの導入を検討、推進する。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

シート塗布乾燥機付帯の脱臭炉の処理風量を削減し、58000Nm³/年の都市ガスを削減。

省エネ診断を受診

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

1. 環境出前授業の実施 : 川崎市内小学校への環境出前授業を実施 08年2回、09年1回、10年3回を計画及び実施中。
2. グリーン購入の実施
3. 従業員家庭での環境家計簿推進

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,810	t-CO ₂
(調)	3,470	

イ 第 3 号該当者等

		t-CO ₂
--	--	-------------------

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
川 崎 工 場	川崎区千鳥町9-2	1635	化学工業	3810 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k _l 未満	
300～400k _l 未満	
200～300k _l 未満	
100～200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--